



広報 KOGA NO.41

# こが 古河



目次

- 2 愛・あい号(乗合タクシー)
- 4 確定申告
- 6 子ども会活動
- 8 今後の教育施策
- 10 がん検診
- 12 明るい選挙推進事業

**2**  
FEBRUARY  
2009

## デマンド交通

# 愛・あい号(乗合タクシー)の運行状況を報告します

古河市では、市内循環バス「ぐるりん号」が運行していない、総和地区、三和地区を対象に、日ごろから通院や買い物などの交通手段に困っている人の足を確保するため、新しい公共交通サービスとして「愛・あい号」(乗合タクシー)の試験(実証)運行を昨年の7月1日から開始しました。

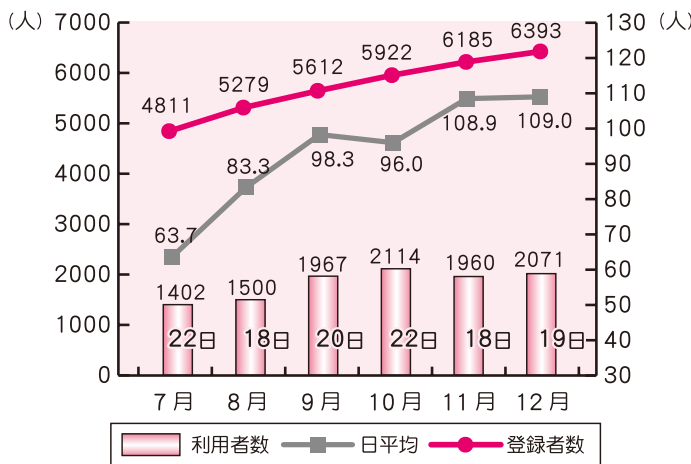
このデマンド交通は、「地域公共交通活性化・再生総合事業」による国土交通省の事業認定を受け、国の支援制度(補助金)を活用して運行を行っています。

「愛・あい号」の利用状況につきましては、登録者・利用者数とも月を重ねるごとに増加し、昨年の12月15日(運行111日目)で利用者累計1万人を越えました。

今後も市民の皆さんに愛され、親しまれる「愛・あい号」の運行を目指して、継続的に改善していきたいと思います。

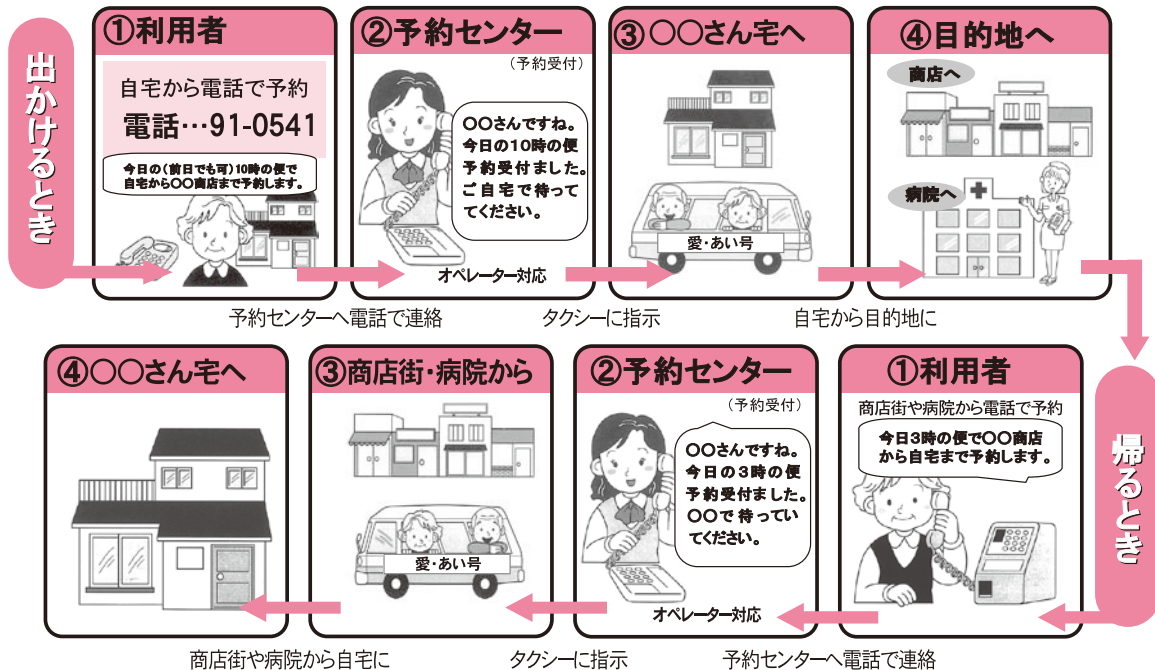
【問】総和庁舎(本庁)企画政策課 ☎92-3111

### 愛・あい号の利用状況



皆さんの足として利用され、利用者数も増加しています

### 愛・あい号の利用方法



※利用するには事前に登録が必要になります。企画政策課まで問い合わせください。

※乗り合いによる運行のため、到着時間には充分余裕を持ってご利用いただくこととなります。



## 公共交通に関する市民アンケート調査結果

市では、「古河市公共交通活性化会議」を設置し、民間路線バス、市内循環バス(ぐるりん号)、デマンド交通(愛・あい号)の運行など、地域の公共交通を維持していくための施策を実施しています。

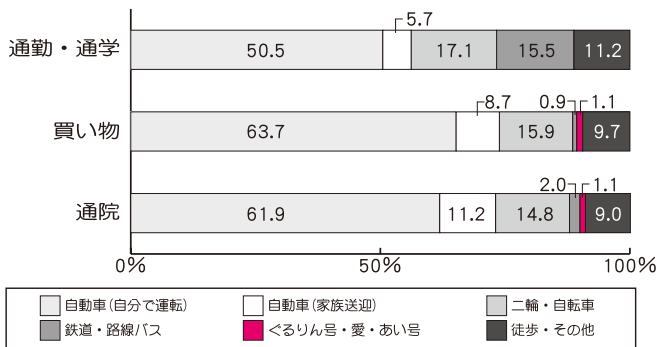
※昨年の9月には、さらに使いやすい公共交通を目指した検討を行うための基礎データを収集するため、市民アンケートおよびバス利用者ヒアリング(ぐるりん号、愛・あい号含む)調査を実施しました。アンケートの中で主な意見(速報値)について紹介します。



▲市民アンケートを実施しました

【古河市内居住者(5,000世帯)住民基本台帳より無作為抽出：回収率45.8%】

### ○主な交通手段



※自動車での移動が7割強を占める。

#### 【公共交通を使わない理由】

- 自家用車を利用している
- 停留所が遠い(運行区域内でない)
- 停留所・運行ルートが分からない
- 目的地を通らないから

#### ■「愛・あい号」の本格運行に向けて必要なこと

1 運行台数(本数)を増やす	59	( 7.7)	
2 古河地区まで運行エリアを拡大	246	( 32.2)	
3 利用や使い方などをPR	232	( 30.3)	
4 特がない	113	( 14.8)	
5 その他	28	( 3.7)	
6 無回答	86	( 11.3)	
合計	764	( 100.0)	20 40 (%)

#### ■「ぐるりん号」の改善点・見直しについて

1 ルート等を見直しながら、「愛・あい号」を拡大	504	( 22.0)	
2 全面的に廃止し、「愛・あい号」に統一	203	( 8.9)	
3 わからない	938	( 41.0)	
4 その他	161	( 7.0)	
5 無回答	482	( 21.1)	
合計	2,288	( 100.0)	20 40 (%)

#### 【アンケート自由意見】

- 路線バスを廃止しないでほしい
- 路線バスの便数を増やしてほしい
- ぐるりん号は古河地区限定という運行範囲が狭い
- ぐるりん号を廃止しないでほしい
- 愛・あい号の周知不足
- 愛・あい号の運行区域を拡大してほしい
- 古河地区のぐるりん号は無料なので不公平感がある

#### 「古河市地域公共交通総合連携計画」素案について皆さんの意見を募集します

古河市公共交通活性化会議(会長：古河市長白戸仲久)では、市内公共交通の活性化、公共交通サービスの充実を図るため「古河市地域公共交通総合連携計画」を作成中です。市民の皆さんに広く意見を募集します(パブリックコメント)。詳しくは広報古河お知らせページ2月1日号3ページをご覧ください。

# 確定申告

2月16日から3月16日

確定申告は、毎年1月1日から12月31日までの1年間に生じたすべての所得金額とそれに対する所得税の額を計算し、確定申告書を提出して源泉徴収した税金や予定納税で納めた税金などの過不足を精算する手続きです。



## ○こんなときは確定申告が必要です

- ・ 営業、農業、不動産、年金などの収入があった人
- ・ 平成20年中に退職した人または2カ所以上から給与を受けた人
- ・ 勤務先から市役所に給与支払報告書が提出されていない人
- ・ 給与の収入金額が2,000万円を超える人
- ・ 各種控除の追加・変更がある人

## ○申告手続きの流れ

確定申告に必要な書類を準備する

給与所得や公的年金等の源泉徴収票(原本)、医療費の領収書、社会保険料控除証明書、生命保険料の控除証明書、地震保険料の控除証明書、寄付金の受領証など。



申告書を準備する

申告書Aは申告する所得が給与所得、雑所得、配当所得、一時所得のみで、予定納税額のない人が使用します。申告書Bは所得の種類にかかわらず使用できます。



付表と計算書等を準備する

内容に応じて付表と計算書等を準備します。  
住宅ローン控除額の計算明細書、医療費の明細書など。



▲申告書



申告書を作成する

収入金額、所得金額、所得から差し引かれる金額、税金の計算など必要事項を記入し、申告書を作成します。



申告書を提出する

古河税務署・市役所で確定申告の相談および申告書の受付をします(2月16日～3月16日)。郵送で提出する場合は古河税務署へ送付(当日消印有効)。



納税するまたは還付を受ける

納税する人は現金または口座振替等により所得税を納税します。還付を受ける人は申告書に記入した金融機関の預貯金口座に還付金が振り込まれます。



## ○主な所得と控除

### 【所得】

- ・事業所得：商・工業や漁業、農業、外交員、自由職業などの自営業から生ずる所得
- ・不動産所得：土地や建物、船舶や航空機などの貸付けから生ずる所得
- ・雑所得：公的年金、厚生年金、共済年金、恩給などの所得
- ・譲渡所得：土地や建物、借地権、株式等を譲渡したことによる所得
- ・一時所得：生命保険の一時金、賞金や懸賞当せん金などの所得

### 【控除】

- ・扶養控除：所得が38万円以下の親族がいる場合の控除
- ・配偶者控除：配偶者の所得が38万円以下の場合の控除
- ・配偶者特別控除：配偶者の所得が38万円を超え、76万円未満の場合の控除
- ・社会保険料控除：国民健康保険税、国民年金保険料、介護保険料などの支払いがある場合の控除
- ・生命保険料控除：生命保険料や個人年金保険料の支払いがある場合の控除
- ・住宅ローン控除：住宅ローン等でマイホームを取得した場合の控除
- ・医療費控除：多額の医療費を支払った場合の控除(限度額は200万円)



医療費控除額

=

平成20年中に  
支払った医療費

-

保険金などで  
補てんされる金額

-

10万円または所得金額の  
5%(どちらか少ない額)

※健康診断の費用、疾病の予防または健康増進のための費用、容姿の美化等の目的で行った整形手術の費用などは医療費控除の対象になりません。

## ○所得税の計算方法

- ①収入金額から必要経費(事業所得の場合)や給与所得控除(サラリーマンの場合)の金額を差し引いて所得金額を求めます。
- ②所得金額から基礎控除・扶養控除・社会保険料控除・生命保険料控除等を差し引いて課税される所得金額を求めます。
- ③課税される所得金額に右表の税率を乗じ、控除額を差し引いて所得税額を求めます。

### 【所得税の税率】

課税される所得金額	税率	控除額
195万円未満	5%	0円
195万円以上～330万円未満	10%	97,500円
330万円以上～695万円未満	20%	427,500円
695万円以上～900万円未満	23%	636,000円
900万円以上～1,800万円未満	33%	1,536,000円
1,800万円以上	40%	2,796,000円

〔例〕収入450万円、必要経費100万円、基礎控除38万円、配偶者控除38万円の場合。

- ①450万円-100万円=350万円
- ②350万円-38万円-38万円=274万円
- ③274万円×10%-97,500円=176,500円 所得税額176,500円

## ○e-Taxを利用した確定申告

e-Taxは、自宅などからインターネット経由で申告・納税等の手続きを行うことができるシステムです。利用するには、電子証明書(市民課で申請)とICカードリーダーが必要で、e-Taxを利用して申告すると最高5,000円の税額控除を受けることができます。 国税庁ホームページ：<http://www.e-tax.nta.go.jp/>

【問】古河庁舎 市民税課 ☎22-5111、古河税務署 ☎32-4161

# 楽しいよ！ みんなも入ろう！ 「子ども会」



いじめや不登校、学級崩壊、児童虐待などが報道されない日はありません。こうした背景に、社会の変化に伴う子どもの集団の変化があります。地域社会のつながりが希薄になり、子どもの「集団」経験が乏しくなっています。また、親や大人も乏しい人間関係の中で子育てが困難になっているのも事実であり、いかに子どもの育つ地域をつくるかが大きな課題になっています。

そういった中、学校ではできないさまざまな体験を広げていくためにも、今地域の中に子ども組織を広げていくことが大切になっています。

【問】古河庁舎 生涯学習課 ☎22-5111

## 「子ども会」ってなあに？

「子ども会」は、同じ町内や地域に住んでいる異なる年齢の子どもたちの集まりです。子どもたちは、地域の大人に見守られながら一緒に遊び、いろいろな体験活動の中での触れ合いを通して家庭や学校では得られない貴重な経験や知識を学んでいます。

年上の子が年下の子の面倒をみて、時にはリーダーシップを発揮する……。普段親がやってくれていることを自分たちでやってみる……。その中では意見がぶつかりあってしまうこともあるでしょう。それも経験のうちなのです。しかし、最近では家庭ゲーム機の普及や遊び場所の減少、地域力の低下、少子化などさまざまなことが原因で、友達や兄弟と遊ぶ機会が減っているのが現状です。遊びを通して子どもたちは成長します。その機会づくりを担っているのが地域の「子ども会」なのです。

## 古河市子ども会育成連合会では…

「古河市子ども会育成連合会」(知久貴会長)は、単位子ども会数が約240、子ども会員数が7,600人を超

える連合組織です。連合会では、学区・単位子ども会への援助や連携を図りながら、子どもたちの健全な育成に必要な魅力あるイベントを企画・運営しています。また、子ども向けだけでなく、指導者・育成者の大人向けの研修なども行い、大人が子どもを見守る地域づくりにも努めています。

各地区会でも野外活動や球技大会、チャレンジランキング、施設訪問など、さまざまな楽しい活動がたくさんあります。さらに平成20年度からは、地区会相互の事業交流も始まり、市内の他の学校の友達とも遊ぶ機会が増えました。

まだ、子ども会に入っていない子も「子ども会」に入会して、さまざまな学年の人たちと兄弟のように一緒に遊んで、いろいろな体験や思い出をたくさん作りましょう。

※2008年に各地区の子ども会で実施された活動状況を右ページでご紹介します。



## 古河地区会

### ◆幹部研修会(宿泊体験)

さしま少年自然の家

6月28日(土)～6月29日(日)

古河地区の小学5・6年生127人が参加。今年で50回目を迎えました。子どもたちは各班に分かれて役割分担(つどい、レクリエーション、食事、生活、寝具係)を決め、それぞれ自主性、協調性、責任感を豊かな自然の中で養いました。

夜の部では、恒例の「暗やみ探検」。お化けに扮した育成者が子どもたちを驚かして、子どもたちもびっくり。また、2日目に屋外で大勢の友達と作ったカレーライスは、普段家で食べるものとは違い、格別でした。



### ◆球技大会(ドッチボール)

古河体育館 10月4日(土)

今年から総和地区・三和地区の子どもたちも加わり総数41チームが参加。低学年・高学年の部に分かれて熱戦が繰り広げられました。ドッチボールは、今も昔も子どもたちには大人気の競技。高学年になると

フェイントや素早いパス回しでスリリングなゲームが展開されました。



## 総和地区会

### ◆チャレンジランキング大会

とねミドリ館 6月22日(日)

チャレンジは、誰でも気軽に参加できる遊びの大会。種目は遊びの数だけいっぱいです。運も味方につけての「一分間ジャンケン」「サイコロの1出し」、ちょっと技術と集中力がある「空き缶つみ」「紙ひこうきとぼし」など誰でもどこでも楽しめます。優勝者にはチャンピオンの賞状が授与されます。皆さんも新記録を目指して参加してみませんか。いろいろな友達と一緒に遊びましょう。



### ◆野外活動キャンプ

水戸市青少年自然の家

8月1日(金)～3日(日)

総和地区の小学校高学年66人が参加。星空の下でのキャンプファイヤーは幻想的なムード。高校生ボランティアのお兄さん、お姉さんたちと一緒に自然体験活動(グリーンアドベンチャー)や野外炊飯、創作活動(銅版製作)を楽しみました。3日間を大勢の友達と一緒に過ごした子どもたちは、とてもたくましくなりました。



## 三和地区会

### ◆施設訪問(三和地区の福祉施設)

7月31日(木)

三和地区の児童56人が福祉施設2カ所を訪問。入所者と一緒になって、間違い探しやことば遊びゲーム、合唱、簡単なキーホルダーづくりを楽しみました。初めのころ、子どもたちは戸惑いがあったようでしたが、だんだん打ち解けてくるとおじいちゃん、おばあちゃんと「ニコニコ」と……笑顔がこぼれる微笑ましい交流になりました。



また、10月25日に開催された「三和産業祭・さんさんまつり」では三和地区会の大声コンテストや学区ごとに企画されたさまざまなアトラクション(ナイスピッチング、ターゲットシャトルなど)を出店して大いに盛り上がりました。



大声コンテスト優勝

高橋郁弥くん(八俣小5年生)

「緊張はしませんでした。1位になれてうれしかったです」

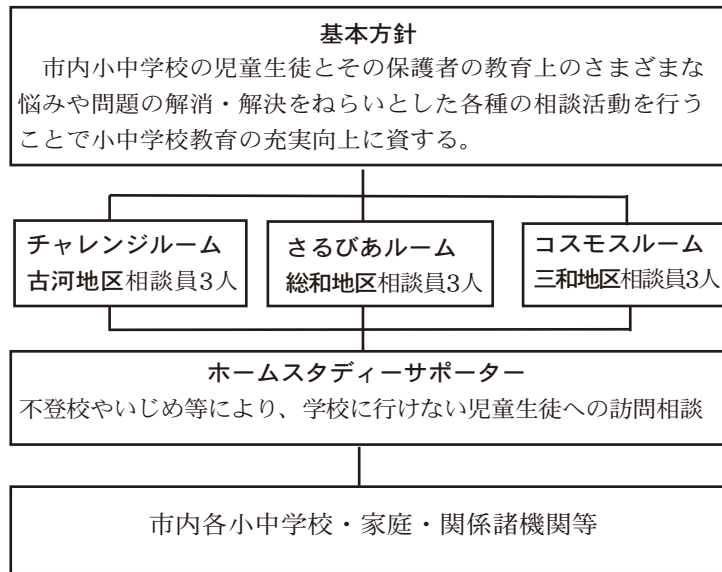


# 児童生徒の豊かな心の育成を支援します！

家庭や地域コミュニティの中で、子どもが自然に身につけてきた対人関係や問題解決の方法などのさまざまな社会的スキルの不足が指摘されています。その結果、不登校やいじめなどの児童生徒の学校不適応行動が全国的に増加の傾向にあります。古河市教育委員会では、教育相談事業推進の取り組みの一環として、教育支援センターとの連携のもとに社会的スキルの獲得を援助することにより、児童生徒の豊かな心の育成を支援しています。

【問】古河庁舎 指導課 ☎22-5111

## ■ 平成21年度古河市教育相談事業構想



**教育相談**：児童生徒の生活全般について相談を受付  
学校教育相談員派遣：学校教育相談員を学校に派遣し、教育相談体制の充実を支援

**ホームスタディーサポート事業**：相談員が家庭訪問

**関係諸機関との連携**：筑西児童相談所、市子ども福祉課、県教育研修センターと連携

**研修会の実施と支援**：みんなですすめる友達相談活動を実施  
**広報活動の充実**：市広報への寄稿、リーフレット、各種案内だよりの充実

**小中学校との連携**：学校訪問、スクールカウンセラーとの連携

**指導体制の充実**：臨床心理士の配置、学校教育支援員との協力体制の確立

**学習指導の充実**：個別学習の支援、自主学習の支援

**体験活動の充実**：創作、園芸、調理、ハイキング、スポーツ活動の実施

**保護者カウンセリングの充実**：子どもへの接し方、保護者の悩み

## ■ 社会的スキル育成の教育実践

グループそのものへのかかわりやグループをつくる体験を生かし、個人としての成長やメンバー間のコミュニケーション、所属集団へのかかわりの視点から社会的スキルの育成を図っています。

### 【感情の落ち着かせ方のプログラム例】

○感情の落ち着かせ方を考えましょう

冷静さを失った状態では、自分の気持ちは相手に伝わりません。



〇〇君にドッチボールの時に「わたしがズルをした。ズルをした。」といつも言われるの！もう、頭にくる！！

- ◆ステップ1 そばに行き「どうしたの？」と声をかける。
- ◆ステップ2 話をよく聞く。「話し、聞くよ。」
- ◆ステップ3 一緒に深呼吸する。「一緒に深呼吸しよう。」と言って、5回深呼吸させる。
- ◆ステップ4 他の方法を提案する。①ゆっくり数を数える。「ゆっくり数を数えて。」と言い、10まで数えさせる。②そのまま行動し続けていたら、どんな結果が起こるか予想する。「ずっと怒っていたら、皆がどう思うかな？」と聞く。③感情を落ち着かせる言葉を自分に言ってみる。「落ち着いてって、言ってみたら？」と言って5回言わせる。

ステップを踏みながら、不安定な自分の気持ちを落ち着かせる方法を学習します。



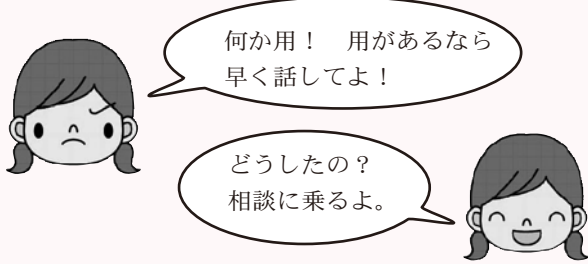
### 【授業実施後の児童生徒の感想】

- ・友達がカァッとなっている時に、「数を数えて深呼吸しよう。」と声をかけたら、だんだん普通に戻ってきた。
- ・家庭でお父さんに怒られた時に、自分の感情を落ち着かせるのに役に立った。
- ・学習したことを下級生に発表する場面で、この方法を使い、リラックスすることができた。
- ・次は友達と上手に仲直りする方法を教えて欲しい。



### 【上手な話しの聞き方プログラム例】

○どちらの表情や態度の方が話しやすいでしょうか？



#### 《事例》

友達から、自分がまだ読み終わっていない漫画の本を「貸して」と言われてしまいました。次回の土曜日・日曜日で読みたいと思っていたので、断りたいと考えています。この時の上手な断り方について考えてみましょう。



#### 《上手な断り方の例》

「ごめんね。実はその漫画はまだ読み終わっていないんだ。だからもう少し待ってよ。来週なら貸せると思うよ。」

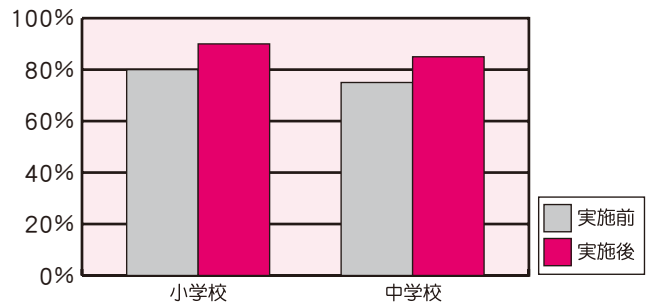
※自分も相手も大切にしたかかわり方を学習します。

### 【授業実施後の児童生徒の感想】

- ・授業を通して、自分の話しの仕方や聞き方で、気をつけなければいけないことが見つかりました。今度からは、相手の気持ちを考えたり、気持ちよく接することができるようにしたいです。
- ・普段、ほとんど話しをしない友達とたくさん話しをすることができ、その友達のよさを知ることができました。いろいろな友達と話しをするようにしていきたいと思います。
- ・友達に気を遣い過ぎてしまい、断りたくても断りきれずに、言いなりになってしまうことがありました。プログラムで学習したことを使うと、相手に自分の気持ちを上手に伝えられることが分かりました。

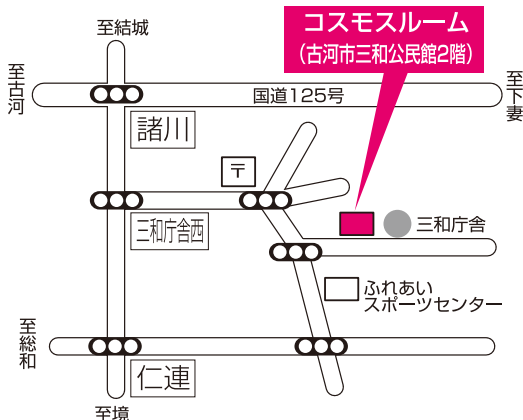
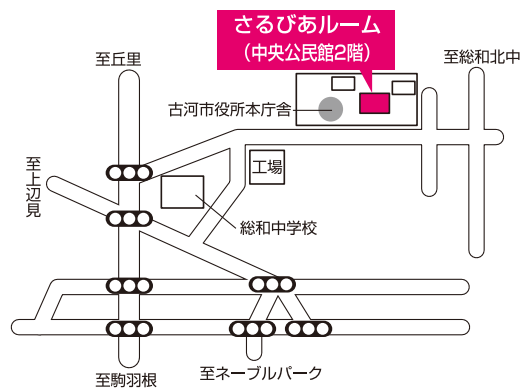
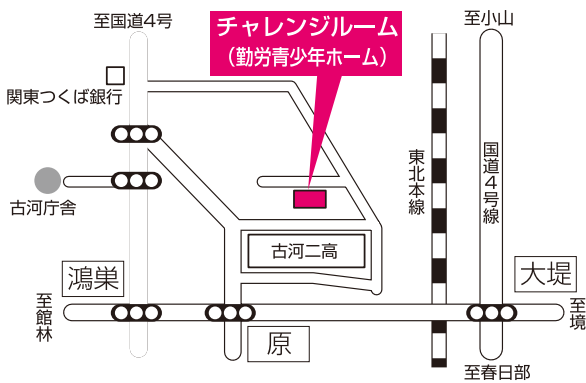
### 【質問】

「自分が好きですか？」に「はい」と答えた児童生徒の割合



## 相談窓口の設置

古河市教育委員会では、不登校やいじめなどの児童生徒の学校不適応行動の解消のための相談窓口を設置しています。



【相談時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時】

古河市青少年電話相談		☎0120-783-747
古河市教育委員会指導課		☎22-5111(代表)
教育支援センター	チャレンジルーム(古河地区)	☎31-7799
	さるびあルーム(総和地区)	☎92-0101
	コスモスルーム(三和地区)	☎76-3321

※早期の相談が、お子さんの学校不適応行動の解消・解決につながります。

# あなたと大切な人のために…… 「がん検診」を受けましょう

現在、わが国のがんによる死亡者数は年間30万人を超え、死亡原因の第1位を占めるようになりました。しかし診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、そして早期治療が可能となってきました。がん検診はこうした医療技術に基づき、がんの死亡率を減少させることができる確実な方法です。

【問】健康推進課（古河福祉の森会館）☎ 48-6883、健康推進室（総和福祉センター「健康の駅」内）☎ 92-0110、三和庁舎内☎ 76-1511）



がん検診車

## がんは死因のトップ

がんは正常な細胞の中にある遺伝子が傷つくことでがん細胞が発生し、それが増殖・浸潤する病気です。がんは下記のグラフから分かるように日本人の死因の第1位であるとともに、今なお、その数は増加しています。

近年では死亡する三人に一人は、がんが原因です。



## 自覚症状が出てからでは…

国民生活基礎調査では、検診や人間ドックを受けなかった人の半数以上が「心配ならいつでも受診できる」「時間が取れない」などを理由にあげています。

しかし、初期のがんにはほとんどの場合自覚症状がありません。「心配になる」ような状態になれば、すでに病状がかなり進行している可能性もあります。

がん検診は、症状のない人のための検査です。明らかな症状のあ

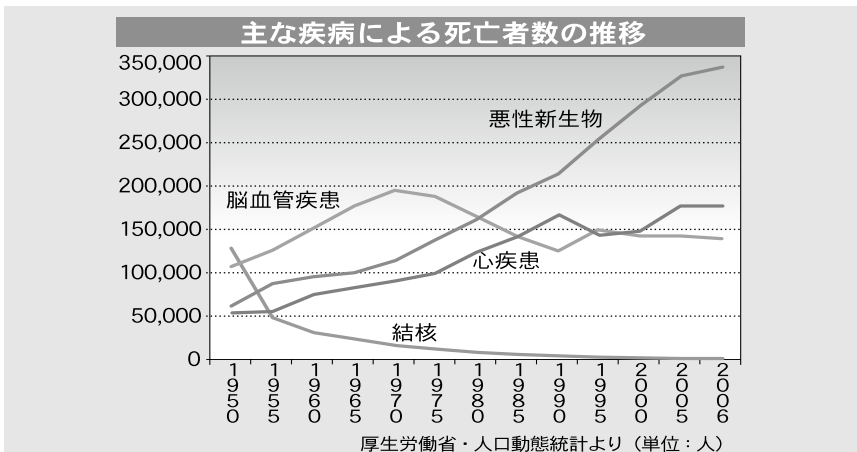
る人には、それぞれの体の状態に応じた適切な検査治療が必要になります。症状がある場合は、必ず医療機関で受診しましょう。

## 早期発見の効果

- 入院日数が短く、経済的負担も少なくてすみます。
- 治療後の日常生活にも影響が少なくてすみます。
- 家族への負担も少なく、職場への復帰も早くできます。
- 手術も簡単にすみます。乳がんなら乳房を残せたり、早期の胃がんや大腸がんではお腹を切ることなく、内視鏡でがんの部分を切除する事ができます。
- 放射線治療、薬剤治療など治療期間が短くてすみます。

がんの診断、治療法は急速に進歩しています。

初期のうちに見つければ、治る確率は飛躍的に上がり、完全に治すことも可能です。だからこそ、早い段階で発見するために、定期的な検診を受けることが大切です。



▲がんで亡くなる人はほぼ1分半に1人のペースであり、さらに増加することが予想されます



## 日常生活でのがん予防

- タバコは吸わない。他人が吸うタバコの煙も避ける
- お酒はほどほどに
  - ・飲酒習慣で食道がん、肝臓がん、乳がんのリスクが高くなります
- 食事は偏らず、バランス良く
  - ・保存、加工肉をとり過ぎない
  - ・食塩の摂取は最小限に
  - ・野菜や果物は1日400グラムを摂るよう心掛けましょう  
(食道がん、胃がん、大腸がん、肺がんなどを抑制する効果があります)
  - ・熱い飲み物は、さましてから飲みましょう
- 継続して適度な運動をしましょう
- 太りすぎや、痩せすぎに気をつけよう
  - ・肥満は大腸がん、乳がんのリスクを上げます
- まず肝炎ウイルス感染の有無を知りましょう
  - ・大部分の肝がんはウイルス感染が原因です



## 古河市で実施しているがん検診

項目	検診項目	受診対象者	検診内容
集団	肺がん検診	40歳以上	胸部レントゲン
	<small>かくたん</small> 喀痰検査	40歳以上	喀痰検査
	胃がん検診	30歳以上	胃X線検査(バリウム)
	大腸がん検診	30歳以上	便潜血反応検査
	前立腺がん検診	50歳～74歳	血液検査
	子宮がん検診	20歳以上	子宮頸部細胞診
	乳がん検診	30歳～39歳	超音波検診
		40歳～49歳の奇数年齢	超音波検診
		40歳～49歳の偶数年齢	マンモ(乳房X線)2方向
		50歳以上の奇数年齢	超音波検診
50歳以上の偶数年齢		マンモ(乳房X線)1方向	
施設	子宮がん検診	20歳以上	子宮頸部細胞診
	乳がん検診	30歳以上	視触診+超音波検診 または視触診+マンモ(乳房X線)1方向

# ルールを守って 明るい選挙を実現しよう



## みんなで守ろう「三ない運動」

「三ない」とは、政治家の寄付について「贈らない、求めない、受け取らない」ことです。

つまり「三ない運動」とは、公職選挙法の寄付禁止の規定によって禁止されている行為をしないようにしようという運動です。

## 寄付禁止のルールを守って、 明るい選挙を実現しましょう

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。これに違反すると、処罰されます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。

【問】総和庁舎(本庁)選挙管理委員会 ☎92-3111

政治家の寄付は禁止、有権者が求めることも禁止

 お歳暮やお年賀	 入学祝・卒業祝	 病気見舞い	 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典	 葬式の花輪・供花	 落成式・開店祝の花輪	 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入
 お祭りへの寄付や差入	 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入	<b>贈らない! 求めない! 受け取らない!</b>	

### 1. 政治家の寄付の禁止

政治家(候補者、候補者になろうとする人、現に公職にある人)は、寄付をすると処罰されます。

### 2. 政治家に対する寄付の勧誘・要求の禁止

有権者が脅迫して、あるいは政治家を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。

### 3. 政治家の関係団体の寄付の禁止

政治家が役職員や構成員である団体が、政治家の氏名を表示して選挙に関し寄付をすると処罰されます。

### 4. 年賀状等のあいさつ状の禁止

政治家は、選挙区内にある人に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等のあいさつ状を出すことが禁じられています。

### 5. 後援団体の寄付の禁止

後援団体が、花輪、香典、祝儀などを出すと処罰されます。

### 6. あいさつを目的とする有料広告の禁止

政治家や後援団体が、有料のあいさつ広告を出すと処罰されます。

**公民権の停止** 1・2・3・5・6によって処罰されると、公民権停止の対象となります。

## 地域経済の繁栄などを願い 新春を祝う

新年を祝う「新春のつどい」が1月8日、古河市生涯学習センター総和「とねミドリ館」で開催されました。出席者は議会議員、各種機関・団体の役員など約460人。式典では、市長の年頭のあいさつの後、市政功労者の表彰・寄付者表彰を行いました。これは、市の政治・教育などに功績のあった人や市に寄付を行った人を表彰するもので、今回は市政功労者22人、寄付者19人が表彰されました。

その後、「公声会」による古河木遣り、鏡開きと続き、全員で乾杯。会場内では、賀詞交換が和やかに繰り広げられました。



▲白戸市長の年頭のあいさつ



▲立食パーティー形式で開催



▲市政功労者の表彰



▲白戸市長が来賓と共に鏡開きを行いました

## 47年の感謝を込めて

12月7日、古河市古河文化協会の主催により、「公会堂大謝恩会」が開催されました。昭和36年4月のオープン以来、文化をはぐくみ、人と人の出会いをプレゼントしてくれた古河市公会堂。老朽化が進み今年度で閉鎖解体となることに伴い、利用者団体の皆さんが、別れを惜しみながら演じ納めをしました。

続く式典では、往事を懐かしむあいさつや逸話が披露された後、参加者全員がベートーベン交響曲第9番「歓喜の歌」を合唱。感謝の歌声が館内に響きました。



▲公会堂の思い出を共有した皆さんで記念撮影

### 市政功労者

(順不同・敬称略)

#### ○自治功労

黒木ヒサ子(南間中橋)	多年市議会議員
堀江久男(駒羽根)	多年市議会議員
増田 悟(恩名)	多年市議会議員
関口哲男(関戸)	多年市議会議員
初見初江(関戸)	多年市議会議員
水上高一(駒羽根)	多年市議会議員
館野洋二(小堤)	多年市議会議員
園部増治(大堤)	多年市議会議員
浅井 清(長左エ門新田)	多年市議会議員
大谷明光(西間中橋)	多年市議会議員
金沢通世(水海)	多年市議会議員

若旅喜一郎(関戸)	多年市議会議員
野澤彰夫(東諸川)	多年農業委員会委員
森川玲子(緑町)	多年人権擁護委員
星野 肇(小堤)	多年人権擁護委員
狐塚 進(静町)	多年自治会長
成田順一(本町二丁目)	多年古河消防団員
斉藤きゑ(古河)	多年統計調査委員
平井富久江(桜町)	多年統計調査委員

#### ○教育功労

長濱勝榮(上辺見)	多年学校歯科医
島田良子(本町三丁目)	多年体育指導委員
遠藤幸男(尾崎)	多年三和体育協会役員



## 全国大会で活躍・表彰

(順不同、敬称略)

### 【日本身体障害者水泳選手権大会】

11月8日から9日に宮城県総合運動公園プールで行われた第25回日本身体障害者水泳選手権大会に染谷祥子さん(茨城DoSwimmingclub)が出場。「女子50mバタフライ」、「女子100mバタフライ」において大会新記録で優勝を飾りました。



染谷祥子さん(東山田)

### 【各種全国大会出場】

○日本スポーツマスターズ2008  
古河壮年サッカー愛好会

○第12回全日本シニアソフトテニス選手権大会  
古河市ソフトテニス連盟  
松本笑子さん、津久井久子さん

○2008年少林寺拳法全国大会  
少林寺拳法茨城三和道院  
小島一弥くん、塚原卓也くん、  
佐川圭佑くん、小野竜成くん、  
関根梨花さん、須澤美南さん

### 【表彰】

消防庁長官表彰功労章 消防庁長官表彰1号報償 消防庁長官表彰1号報償



石丸一男さん  
(古河・三和消防団団長)



海老澤宏さん  
(前古河消防団団長)



古橋秀夫さん  
(前古河消防団第4分団分団長)

消防庁長官表彰1号報償 消防庁長官表彰2号報償 消防庁長官表彰2号報償



草間 清さん  
(前古河消防団第5分団分団長)



稲葉 清さん  
(前古河消防団第8分団分団長)



鈴木豊樹さん  
(元三和消防団第2分団分団長)

## 新春を祝いながら 市内の七福神めぐり

1月11日、「7000歩で歩ける古河七福神めぐり」が古河市観光協会の主催で行われました。

これは、古河駅西口に散在する歴史的建造物や街並みなどを巡りながら七福神を祀る神社仏閣を訪れる散策コースを古河市観光協会が設定したものです。

当日参加した約1,000人は、市内10カ所(4.5キロメートル)、2時間のコース(約7,000歩)を各所での接待を受けながら、元気に歩きました。



▲多くの人たちが、城下町古河の歴史に触れました

### ○茨城県知事表彰・永年勤続功労章

中根一弘さん  
(古河消防団第1分団班長)  
鈴木寛幸さん  
(古河消防団第2分団分団長)  
平井修さん  
(古河消防団第5分団部長)  
落合洋さん  
(古河消防団第5分団班長)  
鈴木英之さん  
(古河消防団第7分団副分団長)

○茨城県知事表彰・消防協力事業所  
日本パイリーン株式会社東京工場

## 大人として新たな門出 古河市成人式典

1月12日、広域中央運動公園総合体育館で新成人の門出を祝う古河市成人式典が行われました。今年、古河市で成人を迎えたのは1,699人。華やかな振り袖やスーツ姿等の新成人1,291人が出席して、厳粛に執り行われました。

式典後は、新成人で構成された古河市成人式典実行委員会の企画立案によりアトラクションが実施されました。会場内外では、新成人たちが久しぶりに再会した友人と歓談していたり、また、中学校時代の恩師もお祝いに駆け付けたりと、思い出話に花が咲いていました。今回の式典は、これから大人の仲間入りをする新成人たちにとって、素晴らしい門出の式典になったことと思います。



▲社会に貢献できる大人になることを決意して式典に参加する新成人たち



▲成人した喜びを分かち合いながらの記念撮影

## 日々新たなり

古河市長 白戸仲久

### ～古河七福神めぐり～

今年の初詣は、昨年と比べ、どこの寺社も人出が多かったようです。

社会に漂う閉塞感、折からの経済危機、そして忍び寄る日常生活への影響など、暗い世相の中で迎えた新年が少しでも明るくなるよう、そんな国民の気持ちを映しているように思います。

私も毎年、自宅近くの氏神に参拝していますが、今年はいつもとより入念にお参りをしたように思います。

さて、初詣といえば、七福神めぐりが全国各地で盛んです。本市でも先月11日、「古河七福神めぐり」が行われました。この行事は、古河市観光協会が地域の活性化を目指し、一昨年からはじめたもので、今年で3回目を迎えました。

参加者は一昨年は300名、昨年は900名、そして今年が1,000名を数え、年々多くの人出で賑わいを増しています。

歴史ある城下町“古河”には、七福神を祭る寺社が十数か所ありますが、このうち十か所をコースに取り込んでいます。約4.5kmと歩きやすい距離に設定し、コース沿いには、歴史博物館や文学館、篆刻美術館などが立地しているため、参拝しな

がら市内散策を楽しむことができます。

各寺社には甘酒やお茶、お餅などが用意され、また、観光ボランティアガイドの皆さんが朱印押しのお手伝いやコース案内をしてくれるなど、参拝者への配慮も行き届いています。

昨年は私も家内とともに約2時間かけて十か所の寺社を回りましたが、今年は消防出初式と日程が重なったため参加できませんでした。来年都合が許せば、ぜひ参拝に加わりたいと思います。

迎えた新年も早や1か月が過ぎました。参拝者の皆さんには、古河七福神のご利益に預かることを祈念いたします。

また、古河七福神めぐりが、本市の観光目玉の一つとして発展するよう、私も協力してまいりたいと思います。



▲うるおいのあるまちづくりに貢献したとして、「まちづくりグリーンリボン賞」(県表彰)を受賞しました

# My Hobby

## SKI ～人と自然とともに～ 鈴木寿雄さん(幸町)

スキーヤーにとって、まさに今はシーズン真っ盛り。山頂から銀色のゲレンデをさっそうと滑る姿は誰もがあこがれます。今回は茨城県のスキー連盟会長として、自然と対話できる楽しさを伝えたいと後輩の育成に当たっている鈴木さんにお話を伺いました。

### スキーとの出会い

北海道で生まれて、幼少のころは豪雪時に長靴にスキーの板をくりつけて滑って歩いていたそうです。小二のころから体育の授業などで、スキーを楽しんでいると感じ始めた鈴木さん。何事にも打ち込む性格のせいか、スキー場に行くと急斜面をシュプールを描いて滑っているお兄さんたちを見て、いつかは自分もあんな風になりたいと、思い描くようになっていました。

### スキーの魅力

就職した会社は、仕事の関係で出張先がいつもスキー場のすぐそば。そして、社員の中でスキーの人氣が高かったこともあり、貸切りの夜行列車でスキー場へ行くことがしばしば。同僚とにぎやかに懇

▶競技トレーニング終了後の集合写真。この写真もまたよい思い出になります。(前列中央が鈴木さん)



▲スキー場ではいつも日本の四季を感じて楽しんでいるという鈴木さん

親しながらのスキーは楽しく、それ以来、ずっと年末年始はスキー場で過ごしています。

これまで滑ったスキー場の数は、なんと100ほどに。また、自らバイクの二輪にチェーンを巻いてスキー場へ行った経験もあるそうで、「スキーを通して自然と触れ合い、そこに人との交流があって、かけがえのない体験や仲間となってきた……。今では一番の大きな財産です。」とうれしそうに話す鈴木さん。

### 自然と共生しながら楽しむ

“自然へ行こう、自分に帰ろう”とCONE(自然体験活動推進協議会)コーディネーターとしても活動している鈴木さんは、「今後、団塊の世代の人には自然回帰の楽しめる場所をスキー場とタイアップして提供したり、子どもたちには自然の中でやるスポーツの楽しさを体験させてあげたりしたい。」と切に願っています。「特に子どもたちには競争ではなくスキーの楽しさを伝えたい!そして、スキーも含めて地域にもっと貢献していきたい」との思いを教えてくださいました。

そんな鈴木さんの今後の大きな目標はマスターズの世界大会に出場すること!“競争で勝つというより自分に勝ちたい”と話す鈴木さんの目は少年のようにキラキラと輝いていました。



## パークライフ 《ポニー牧場の仲間たち》

ネーブルパークにポニー牧場があることはもう皆さんご存じですね。牧場には現在チビ、ルイス、サラ、グラシオの4頭のポニーが在籍していて、こんなに寒い冬の時期でも、ポニーたちはみんな元気いっぱいです。しかし、寒さの中で元気なのはポニーだけではなく、ポニークラブに参加している子どもたちも、休日になると元気いっぱいに牧場に集まってきます。

このポニークラブは、小学三年生から中学生までを対象としたクラブで、乗馬やポニーの世話はもちろんのこと、障害者乗馬会のサポートや、ボランティア活動など、さまざまな内容の活動を行っています。

ポニークラブが参加しているボランティア活動には、古河関東ド・マンナカ祭りでの環境デポジット、利根川クリーン作戦などがありますが、そのほかにも毎年参加している行事として青嵐荘療育園で行われる合同クリスマス会があります。昨年12月21日にも参加しましたが、今回で6年目となるこの交流行事



▲ポニークラブの活動風景

で、ポニークラブの子どもたちは毎回ダンスを披露しています。これまでも、はやりのダンスやよさこいソーランなどを披露してきましたが、今年は楽しく踊れるアラジンの「陽は、また昇る」を選びました。約2カ月間にわたり、子どもたちや保護者、そして職員が一体となって練習に取り組み、その努力の甲斐もあって、当日は参加された皆さんからたくさんの拍手をいただくことができました。拍手のなかで見せた子どもたちの表情は大変すばらしく、そして輝いていました。

こうした活動は、あまり皆さんには知られていませんが、ポニークラブに集まる子どもたちはさまざまな活動を通して、多くのことを感じながら心身共に日々成長しています。

こんな元気いっぱいの子もたちが集まるポニー牧場、一度のぞいてみてください。きっと、たくさんの元気をもらうことができますよ。

【問】ネーブルパーク ☎92-7300

## 文化財の窓

### 五部・本田遺跡の発掘調査

現在、県立三和高校のすぐ西側(五部<sup>ごへい</sup>地内)で埋蔵文化財の発掘調査が行われています。

ここは、西仁連川低地を臨む台地東側縁辺部に位置し、以前から古代の土器である須恵器<sup>すえき</sup>や土師器<sup>はじき</sup>などの破片が採取され、「本田遺跡<sup>ほんでん</sup>」として登録されていたところです。しかし、本遺跡を含むこの一帯が幸江崎<sup>こうえさき</sup>地区経営体育成基盤整備事業(土地改良事業)として整備されることとなり、遺跡の概要を確認するために、平成15年以降、2回にわたって試掘調査が実施されました。

その結果、奈良・平安時代の<sup>たてあなしき</sup>竪穴式住居跡や土器などが確認され、基盤整備事業がそのまま実施されれば遺跡が滅失することが予想されました。そのため、本格的な発掘調査を実施して記録保存を図ることとなり、昨年11月下旬から準備に取りかか



▲発掘現場を西から見る(後方の白い建物は三和高校)

り、12月に入って実際の調査が始まりました。

これまでの調査によって、平安時代のものと思われる竪穴式住居跡が10数軒、掘立柱<sup>ほったてばしら</sup>建物跡が2軒、さらに遺跡の中央を縦断するように中世の溝の跡も確認されました。それとともに、土師器や須恵器、緑釉陶器などの遺物も出土しています。

遺構や遺物の詳細については、現在の段階でははっきりしませんが、調査が進むにつれて詳しい状況が判明すると思われます。調査は今月末までの予定で実施されますが、2月15日に、一般の人を対象として現地説明会(遺跡見学会)を開いて、調査の内容や進捗状況を公開する予定です(説明会の詳細については、広報古河お知らせページ2月1日号4ページをご覧ください)。

(文化課文化財保護係)

### 思いや願いがこめられた品々

#### 収蔵品展から

八幡町では、旧暦10月14日、お十夜講じゅうやこうといって、持ち回りで当番の家に集まり、念仏を唱えながら、長い数珠じゆずをまわす念仏講が行われていました。十三仏じゆさんぶつという仏様の掛け軸をかけ、その前で無病息災・町内安全を願い、また葬儀があれば、扶助組織ふじよとなって墓穴掘りや、葬列の手伝いちようばをしていたものでした。伝えられてきた講の帳簿によれば、宝暦11(1761)年にさかのぼることができる伝統行事です。しかし、平成12年10月8日、「長い歴史がある文化の火がまた一つ消えて行くことで残念なことであるが時代の流れから致しかたないと今後の無事安穩あんゑんを祈りながら終焉しゆうゑんとした」とその講帳にしたため、十三仏の掛け軸から魂が抜かれました。閉講です。その後、この道具一式は、念仏講の方々の深い思い入れや願いを永久に伝えるために、歴史博物館の収蔵品として寄贈していただいたものです。

「収蔵品展」では、そんな思いや願いがこめられた品々を紹介しています。このほか、広げると11メートルもある横山町さいらいのぼりの祭礼幟、永井路子先生からご寄贈された水戸の画家立原杏所たちばらきようしよの「月梅図」など、おもに平成10年～平成13年に新規収蔵品となった資料の一部を展示しています。



▲八幡町念仏講道具

会期 2月26日(木)まで

場所 古河歴史博物館

開館時間 午前9時～午後5時

※入館は午後4時30分まで。

入場料 一般400円 小中高生100円

【問】古河歴史博物館 ☎22-5211

## 図書館おすすめの図書

#### ◇一般書

・子どもたちが学校をつくる

ペーター・ヒューブナー 著 木下 勇 訳



子ども、教師、保護者から地域の住民までが建築家、教育専門家と一緒に10年にわたって作りあげた自分たちの学校。それはまるで町作りのようなプロセス。環境共生型・未来の学校のあるべき姿をドイツを舞台に綴った作品。  
出版社…鹿島出版社 分類…374ヒ

#### ◇児童書

・鈴とリンのひみつレシピ

堀 直子 作 木村 いこ 絵



鈴はなんのとりえもない小学生。ところが、のら犬だったリンのために料理を作ると、みんなから大好評！

料理コンテストに出場することになった鈴はリンと一緒にひみつの料理を考えるが……。

出版社…あかね書房 分類…K913ス (つつみ公民館)

# 健康情報局

## インフルエンザにご用心！ まだ油断はできません！

寒い日が続いていますが、体の調子はいかがですか？ 特に今年は昨年次ぐペースでインフルエンザの流行が早かったと言われていいます。インフルエンザの流行のピークは1月～3月です。受験シーズンでもあるこの時期、小さなお子さんからお年寄りまでインフルエンザには特に注意したいものですね。

### ○インフルエンザと普通のかぜの違いとは？

普通のかぜの症状は、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などが中心です。全身症状はあまり見られず、発熱もインフルエンザほど高くなく、ひどくなることはほとんどありません。一方、インフルエンザの場合は38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて普通のかぜと同様、のどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。

### ○インフルエンザにかからないために！

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどからのウイルスを吸い込むことによって感染します。インフルエンザが流行してきたら、特にお年寄りや小さなお子さん、また、疲れているとき、睡眠不足の人は、人混みに出るのは避けましょう。空気が乾燥すると、インフルエ

ンザにかかりやすくなります。外出時にはマスクを利用したり、室内では加湿器などを使って適度な湿度(50%～60%)を保ちましょう。十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日ごろからバランスよく栄養をとることも大切です。

### ○インフルエンザにかかってしまったら？

どの病気でも共通して言えることですが、早めに治療し、体を休めることは、自分のからだを守るだけでなく、他の人にインフルエンザをうつさないという意味でも大変重要なことです。

- ・単なるかぜだと軽く考えず、早めに医療機関を受診しましょう。
- ・安静にして、休養・栄養をとりましょう。特に睡眠をたっぷりと。
- ・水分を十分に。お茶やスープなど、飲みたいもの・飲みやすいもので結構です。

また、薬の効果は、一人ひとりの症状や体調によっても異なります(正しい飲み方、飲んではいけない場合、副作用への注意など)。医師の指示を守り、安易に使用する・しないの判断を自分ではせず、医師に相談することが重要です。

健康に十分留意し、寒い冬を元気に乗り切るようにしましょう！

(健康推進課)

## 表紙写真

1月11日、広域中央運動公園イベント広場・総合体育館で「平成21年古河市消防出初式」が行われました。これは、古河・総和・三和の各消防団が出そろって、点検(服装・機械器具)や放水訓練を行い、日ごろの訓練の成果を披露するものです。

当日は、この冬一番の寒さを記録しましたが、団員たちの熱気が伝わってきました。

※市では、火災や災害時の活動をする消防団員を随時募集しています。

【問】消防防災課 ☎ 92-3111

(写真は、放水訓練の様子)

## 寄付

楨社文会(東京都新宿区)より、博物館・美術館振興のために30万円の寄付。

奥原肇さん(東京都中央区)・奥原宇さん(神奈川県鎌倉市)・浅井純子さん(カナダ)より、亡き母奥原ミチ子さんの意思を継いで、奥原晴湖画室等(古河市出身南画家の第一人者)の寄付。

## 人口と世帯

(1月1日現在 住民基本台帳から)	
総人口	145,636人(-106)
男	73,098人
女	72,538人
世帯数	53,494世帯(+13)
	( )内は前月比



豆腐入り親子どんぶり <介護予防食>



エネルギー=544kcal  
タンパク質=25.9g  
脂質=9.6g  
カルシウム=74mg  
塩分=3.9g

材料(2人分)

鶏もも肉100g、絹ごし豆腐1/4丁、長ねぎ1/2本、卵2個、A(だし汁3/4カップ・しょう油大さじ2・みりん大さじ2・砂糖小さじ2/3・塩小さじ1/3)、三つ葉4本、ご飯360g

作り方

- ①鶏もも肉は、そぎ切りにする。
- ②長ねぎは斜め切りにし、三つ葉は4cm長さに切る。
- ③鍋にAを合わせて鶏もも肉と長ねぎを入れて火をかけ、材料に火が通ったら豆腐をスプーンですくい入れる。
- ④③に溶いた卵を流してふたをし、三つ葉を散らす。
- ⑤器にご飯を盛り、④をのせる。

(食生活改善推進協議会)

アイドル登場

「4月から、元気な幼稚園生！」

鈴木陽奈乃ちゃん (3歳3カ月・仁連)



陽奈乃は、歌やダンスが大好きな女の子です。テレビを見ていて、自分の好きなCM曲や、アニメ曲が流れ出すと、食事中でも食べるのをやめて歌いだすくらいです(笑)。わたしが「その歌、歌詞が間違っているよ」と否定すると、恥ずかしそうに照れ笑っています。

そんな陽奈乃も、今年の4月から幼稚園に通います。今からとても楽しみにしています。そんな少し天然(笑)な娘の成長がわたしも楽しみです(笑)。

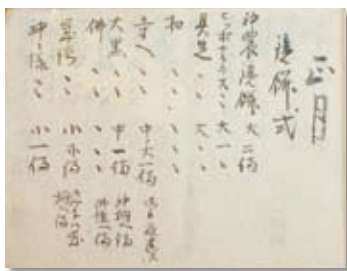
(父：務さん・母：陽子さん)

古河風土記

はやいもので暦は2月。もつとも今月1日は旧暦換算の正月7日、明治以前の太陰太陽暦(旧暦)では、目下、お正月のさかり。そこで今号は、江戸の季節感のままに、旧古河藩医河口家のお正月を紹介することにしました。

オランダ商館医カスバルに外科医師を学んだ河口良庵(1629-87)。彼を初代に、河口家は、江戸を通じて日本医学史に大きな功績を残しました。頭部を含む日本初の人体解剖で著名な信任(1736-1811)、杉田玄白の蘭学の弟子で古河藩にいち早く種痘の恩恵をもたらした信順(1793-1869)等々、その医学史上の成果と文化的貢献は、いまだ多くの研究の余地を残しているほどに膨大です。そして一昨年、ご子孫の好意により当館にすべて寄託された同家伝来資料の中から896件にのぼる文物が県の有形文化財に指定されました。

その文化財群の中に、『年中規格帳』なる1冊が伝えられています。この河口家年中行事ハンドブックは、各月の行事やその手順、祀るべき神仏とお供え、諸々の道具類などを詳らかにしてくれるばかりか、河口家ならではの事例を収載する貴重資料であるのです。



▲河口家の年中規格帳(県指定文化財)

たえばお雑煮。そのレシピによれば、汁は白味噌仕立て、具にスルメ・焼豆腐・大根・芋・菜・昆布・鯉節と記されています。スルメ?、お嫁に来てはじめて迎えるお正月、するめ入り雑煮にやささか驚いたとは、河口家の奥方の談。関東風からみれば規格外のこの逸品、京風の白味噌仕立てに唐津風の具材を合わせたものでしょうか。そういえば信任、23歳までは藩主土井家に従って唐津(佐賀県唐津市)城下の屋敷暮らし。その後、藩主は古河へ転封となり京都所司代や老中という幕府要職を歴任しますが、いずれも側医を勤めた信任と信順は、殿さまと迎える都の正月、京都の雑煮に舌鼓をうってたたかもしれません。

規格外のお正月はまだまだ続きます。鏡餅をお供えする26の神仏の筆頭に位置するのは、大黒でも歳徳でもなく「神農」と「ヒポクラテス」。画像として伝わる両者は、すなわち、中国伝説の帝王にして百草をなめて薬を調合したという神農と古代ギリシアの医師にして西洋医学の祖とされるヒポクラテスを意味します。東西医学の神様の双璧が同時にお祀りされる河口家のお正月はきわめて稀な事例といってもよいでしょう。

医学に限らず良さものを折衷するのが河口風。するめと、白味噌にスルメのお雑煮もまた、乙でげす。

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦

ヒポクラテスの居る正月

平成21年2月1日発行 ●発行所/〒306-0029 茨城県古河市下大野2248 古河市役所 ☎0280-3111 ●編集/広報広聴課 ●ホームページ/ <http://www.city.furukawa.lg.jp/>